

## 脱原発と暮らし見直し委員会 再開します

2024年6月に「12年の活動まとめ」を発刊し、活動を一旦お休みしていた「脱原発と暮らし見直し委員会」を再開します。

2011年3月11日の東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故は、東日本の広い範囲に放射能汚染をもたらし、すべての原発（当時54基）が停止しました。当時の民主党政権は「原子力依存度を可能な限り低減する」としましたが、2024年12月17日、資源エネルギー庁が発表した「第7次エネルギー基本計画」ではこの言葉が削除され、エネルギー需要の拡大を前提に、原発の建て替えや原子力エネルギーの「最大限活用」という言葉が盛り込まれました。エネルギー政策の大転換となります。次に起こるかもしれない事故のこと、廃棄物の処分のことには触れず、福島事故の教訓も能登半島地震の教訓も捨ててしまったかのようなのです。一番近くにある「東海第二原発」の工事完了は2026年と迫っています。

今一度、情報を集め、脱原発について考え、暮らし方を考えていきたいと思ひます。初めての方もどうぞ一緒にしてください。

### 2025年第1回 脱原発と暮らし見直し委員会

日時 2月28日（金）13:30~15:30

場所 常総生協組合員活動室

&zoom(オンライン)

→zoom参加希望の方はこちらからお申込ください。  
zoomの招待URLをメールにてお知らせしますので  
必ず「自動返信用メールアドレス」を入力ください。



対象 どなたでも参加できます

内容 原発を取りまく現在の状況について、緩や

かに情報交換、これから委員会でやってみたいことなど意見交換を予定しています（食品等のセシウム測定結果、東海第二・汚染水・甲状腺がん裁判の報告、再処理施設視察報告などがあります）

（委員会

担当 職員 木本）

| 第7次エネ基では再エネを大きく増加させる見通し<br>●23年度実績と第7次エネ基での電源構成比較 |        |         |
|---------------------------------------------------|--------|---------|
|                                                   | 23年度実績 | 40年度見通し |
| 火力                                                | 68.6   | 30~40   |
| 太陽光                                               | 9.8    | 22~29   |
| 風力                                                | 1.1    | 4~8     |
| 水力                                                | 7.6    | 8~10    |
| 地熱                                                | 0.3    | 1~2     |
| バイオマス                                             | 4.1    | 5~6     |
| 原子力                                               | 8.5    | 20      |

(注) 単位は%  
(出所) エネルギー基本計画（原案）の概要（資源エネルギー庁）

### 2025年1月・2月の予定

○生協基幹運営/地域活動・催し●

○提携・協同・連帯企画●

○「常総っ子応援団」in流星台プレイパーク：毎週木曜日10~14時活動中  
です！（出入り自由）

1/31（金）みそ作りワークショップ@柏  
2/1（土）あきたこまちR学習会（生協本部）  
2/6（木）みそ作りワークショップ@守谷①  
2/8（土）みそ作りワークショップ@松戸、みそ作りワークショップ@牛久  
2/22（土）みそ作りワークショップ@守谷②

～各種募金は、下記【注文番号】で、毎週受付しております。ご協力をお願い致します～

- ★【注文番号：500251】東海第二原発差止訴訟基金 1口500円
- ★【注文番号：500252】関東子ども健康調査支援基金 1口1000円
- ★【注文番号：500253】被災地等を支援する【JOSOたすけあい基金】 1口500円
- ★【注文番号：500254】JOSO脱プラ基金 1口500円
- ★【注文番号：500255】鈴木牧場・新牛舎応援基金 1口500円（期間：～2025年3月4回まで）
- ★【注文番号：500256】脱原発と暮らし見直し委員会「12年のまとめ」の印刷カンパ 1口200円
- ★【注文番号：500257】岩瀬牧場・養豚基金 1口500円（一次締切：～2025年4月5回まで）

2011年3月の福島原発事故から3か月後の常総生協第38回総代会では、異例の「特別決議」が採択されました。「脱原発」と「暮らし見直し」を考える原点となった決議文を再掲します。



## 総代会特別決議



### 人々の協同と自立による復興と大地再生を誓い、 核と原子力のない安心の社会に向かいます

2011年春、東日本大震災と東電福島第一原子力発電所の事故は、私たちの暮らし・意識・社会を問い直すことを私たちに課しました。

わたしたちの健康は、「いのち育む食」を提供してくれた生産者のおかげです。これまでに感謝し、気持ちの支えも含めて被災と放射能汚染にあった生産者の復興・再生に具体的に協力し、共にこの困難を乗り切っていくことが地域の人たちの自立の連環につながり、格差や差別のない公正な日本社会、世界に連なることを願います。

生命の糧を育む大地と海の放射能汚染の除去・低減・再生を、生産者と共に取り組みます。この相互の努力こそが共に願ってきた「食の安全」への道です。

原子力発電は、生命や自然、食の安全とは共存できないと同時に、私たちの便利なくらいが他の犠牲の上に成り立っていたことをも気付かせました。

放射能汚染は「食の安全」を脅かし、消費者と生産者の信頼の絆さえも破壊して、人々を不安と苦渋に落とし入れました。

「安全神話」を推し進めた国の責任、当事者である電力会社の責任は最後まで問われますが、原子力発電に正面から向き合っていなかった私たちの責任も免れません。私たちは12年前、東海村JCO臨界事故の際「国のエネルギー政策の転換を求める声明」を決議していました。また、組合員からの六ヶ所核燃料再処理施設、上関原発への問題提起があったにもかかわらず、粘り強い運動にしてゆく努力を怠りました。

これ以上、次世代に禍根を残さないために「原子力に頼らない社会」をつくるために組合として、個人として、多くの市民とつながりながらできる行動を提案します。まずは国がすべての原発を廃炉にすること、国・企業が放射性廃棄物処理も含めて責任を持って事故・事後処理、賠償を行うことを求めます。私たちの世代の責任において最後まで見届けなければなりません。

同時に私たちが、資源浪費の大量生産と消費のあり方を変え、何が本当に必要なものかを判断し、具体的な運動・活動をすすめます。原発をなくしても私たちが安心して平和に暮らしてゆけることを証明するために、多くの人々と協力し、暮らし・社会を変えてゆく具体的な行動を起こすことをここに決意します。

この決議を言葉に終わらせることなく、継続して努力することを誓い、全組合員に呼びかけます。

2011年6月11日 常総生活協同組合第38回総代会 参加者一同

## 2024年 冬子ども応援プロジェクト実施報告

昨年末にご協力いただいた「子ども応援プロジェクト」について、NPO 法人フードバンク茨城さんより、お礼と報告が届きました。

### 給食のない長期休み期間の子どもたちを食で支援する「子ども応援プロジェクト」 通算14回目の 子ども 応援プロジェクト が終了しました

共催の協同組合ネットいばらき、茨城県生活協同組合連合会のご協力をはじめ、企業や個人の皆様から大きなお力をいただいたの開催でした。



16団体を通じて、日立市・水戸市・城里町・つくば市・土浦市・牛久市・龍ヶ崎市・阿見町・美浦村・稲敷市・境町・つくばみらい市・守谷市 の13市町村の424世帯(前回2024年夏は415世帯)に、お米やおかずになる食品・お菓子などをお届けすることができました。

食品寄付、寄付金、ボランティアなどでこの活動を支えていただいた皆様、ありがとうございました。

#### \*\*\*\*\*いただいた声(一部抜粋)\*\*\*\*\*

子どもが6年生になり、食べる量も増えてきましたし、栄養があるものをたくさん食べさせたいとも思っています。でも本人もお金のことが分かるようになってきて、遠慮したりするようになってしまいました。今回、お米などをいただけてたくさん食べさせたいと思います。ありがとうございます。

食料品などをいただけて、守られている、気にしてもらっていると感じ、とてもありがたいです。

何もかも値上がりしてしまい、厳しい毎日でもとても助かりました。1人の給料で子供3人育てるのは本当に大変だと実感しています。

お菓子類は基本節約のため、優先して削りがちになってしまいます。こういう機会にいただけると本当にうれしい。子どもが大喜びです。

来年は長女の高校受験と高校入学、次女の中学入学も重なります。現状でも副業をしなければやりくり出来なくなる状況なのに、末っ子はまだ小さくてそれも出来ず、そんな中の食料支援は支援してくださる皆様に感謝しかありません。

沢山の支援品を有難うございました。高校生の息子が冬休みに入るので大変助かります。特にお米は有難いです。フードロスを出す事のない様に大切に頂きます。

子供達と一緒に箱を開けてみてビックリ！たくさんのお菓子とお米と野菜と保存食がギッシリ詰まっていた、サンタさんみたいー☆とみんなで大喜びしました！

ども ありがとうございます スリランカの母子家庭から



常総生協が参加した食品寄贈は20団体や多くの個人から集まり、寄付金は15団体で総額310千円、114名のボランティア、その他団体より食品置き場の提供や精米協力があつたとのことでした。

★今後も定期的に子ども支援プロジェクトに関わっていきますので、引き続きご協力をお願いします

## 期中の監査報告です



昨年11月27日に、常総生協本部にて期中監査を行いました。それに先立ち11月9日に、元専務理事の大石光伸氏を講師に「第1回 監事のための監査勉強会」を行い、生協の監事のためのテキストなど使いながら、「貸借対照表」などの読み方、どの部分をチェックすることが必要か、組織の会計の「安全性」は、どのように判断するのかなど教えていただきました。その結果、常総生協は、当面は心配ないことがわかり、ほっと致しました。



さて、「期中監査」は、そのようなデータになる前の伝票などを、監事が実際に見せていただき、データとの整合性をチェックさせていただく日です。経理担当職員さんが事前に準備してくださったファイル等を、実際に見せていただきました。常総生協では、まず紙に記入してからデータに入力することとしており、データに疑問があれば、紙のファイルを確認できるので、それらをランダムに開いて確認を取って行きました。照会した項目はきちんと合っていましたこと、ご報告いたします。



「期中監査」の後、監事一同で、改めて監事の仕事を振り返り話し合い、会計監査だけではなく、理事会運営そのものについても、正常な運営がなされているかどうかチェックしていくこと、職員さんたちからもお話を聞く機会を持つということなどを確認いたしました。より良い生協を目指して監事も頑張ります！

(文責: 松田ミカ)

## 毎月はじめ「1の回」は(今月は2の回) 岩瀬さんの豚肉特集！



### 発酵食品で免疫力アップ！



岩瀬牧場の養豚は、病気を治療する事ではなく「免疫力を高め、元気な豚にして病気にさせない事(予防)」を重視しています。その肝となるのが、2月2回のカタログ7ページでも紹介している自家製の発酵飼料です。

養豚の現場では購入した配合飼料を与えるのが一般的です。しかし、岩瀬牧場では、地域の食品工場からでる食品残渣を集め、牧場内の機械で加熱・攪拌し酵素を混ぜて何回も切り返しながら発酵させて手作りしています。

原料の集荷(私も行っています)や開封作業・仕込・切り返し・・・と時間と手間はかかりますが、最も重要な餌を人任せにせず、自分たちで作ることを大切にしています。

そんな発酵食品とも言えるオリジナルの飼料を常食している豚たちは、暑さ寒さにも負けず年間を通じて元気に過ごしています。人間と同じで、発酵食品で腸内環境を整えて免疫力を高める事の重要性を作業しながら感じています。



人の手と感覚をフルに使い、愛情たっぷり元気に育てられている岩瀬牧場の豚肉をこれからもぜひ応援してください！宜しくお願いします。

(牧場担当職員・横関)

## 【中間報告】「岩瀬牧場・養豚基金」に引き続きご協力をお願い致します

1月2回のニュースレターで立ち上げのお知らせをさせて頂いた「岩瀬牧場・養豚基金」ですが、1月18日時点で819口409,500円が集まりました。組合員の皆様のご協力に感謝するとともに、岩瀬牧場ならびに岩瀬さんの豚肉への応援に心強く思います。本当にありがとうございます。岩瀬さんをはじめ、牧場スタッフ一同も組合員の皆さんからの温かいお気持ちに安定生産と出荷で応えられるよう、毎日頑張っています。

皆さんからご協力頂いた基金を元に現場スタッフとも協力しながら修繕作業を順次行っていく予定です。また、目標金額にはまだ届きませんので引き続き「岩瀬牧場・養豚基金」へご協力を頂けますと幸いです。どうぞよろしくお願い致します。(専務理事 柿崎洋)

「岩瀬牧場・養豚基金(第一次)」  
注文用紙6桁欄に【注文番号】と【口数】をご記入ください。

**番号【500257】**

■目標金額: 130万円(右記①②③の合計金額)

■1口: 500円

■期間(1次締め切り) 2025年4月末日

急ぎ修繕や購入が必要な事項は、以下の3点で、その為の資金が不足している状況です。

①豚の飲み水用の井戸のパイプ交換とポンプ洗浄費用(現在水の出が悪く、人力で水を運んでいます)

②発酵飼料を作る攪拌機の修理(部品の交換が必要です)

③原種の親豚(雄・雌)の購入(高齢化の為更新が必要です)

### ○組合員意見欄より

- 「岩瀬牧場養豚基金」立ち上げはとてもよかったと思います。教えていただかないと状況がわからないので、今回よくわかりました。協力出来ることはしますので、がんばってください。(つくば市Aさん)
- 岩瀬牧場の施設がピンチですわ！募金が集まりますように！(つくば市Nさん)
- 岩瀬牧場さんの養豚基金が集まるといいですね。(守谷市Hさん)